

# 家族への支援部会

取組期間：令和5年7月～6年3月

報告書記載者：札幌市子ども発達支援総合センター 安本元昭

部会長：札幌市子ども発達支援総合センター 安本元昭

令和5年度の 重点取組	Q-SACCSを活用し、札幌市の社会資源について現状把握し、課題について検討する
活動概要	<ul style="list-style-type: none"><li>● 第1回家族への支援部会（令和5年7月26日集合開催）<ul style="list-style-type: none"><li>➢ペアレントメンター、サポートファイルさっぽろについての報告。</li><li>➢R5年度の活動内容について検討→上記重点取組を決定する。</li></ul></li><li>● Q-SACCSの会<ul style="list-style-type: none"><li>➢部会の委員を2グループに分けて、グループごとでの活動とした。</li><li>➢1グループは2回、2グループは3回集まりQ-SACCSの表を完成させた。</li></ul></li><li>● 第2回家族への支援部会（令和6年1月22日集合開催）<ul style="list-style-type: none"><li>➢Q-SACCSの結果を、各グループから発表。市内の社会資源の状況や課題について認識の共有を図った。</li><li>➢今回のQ-SACCSの活動をもとに、支援者が様々な社会資源を活用できるようになれるよう、その手立てを検討していく方向とした。</li></ul></li></ul>
抽出された課題	<ul style="list-style-type: none"><li>● Q-SACCSの結果、市内に社会資源はまんべんなく存在しているが、支援者自身が機関ごとの役割の違いや支援の範囲等を把握しきれておらず、保護者に正確に情報提供ができず、活用しきれていないことが課題と考えられた。</li><li>● 支援者が様々な社会資源を活用できるようになるための手立て（社会資源マップや研修会等）を今後検討していく必要があるのではないか。</li></ul>
課題解決に向けた 次年度の取組予定	<ul style="list-style-type: none"><li>● 部会での継続テーマであるペアレントメンター、サポートファイルさっぽろ、ペアレントプログラムについては、部会内で現状報告をしながら、その普及拡大に向けて随時検討していく。</li><li>● Q-SACCSの活動をとおして抽出された課題については、部会内に新たなプロジェクトを立ち上げ、支援者が様々な社会資源について把握できるような具体的な手立てについて検討していく。</li><li>● プロジェクトで検討された手立てについて、部会でその活用や普及を検討していく。</li></ul>